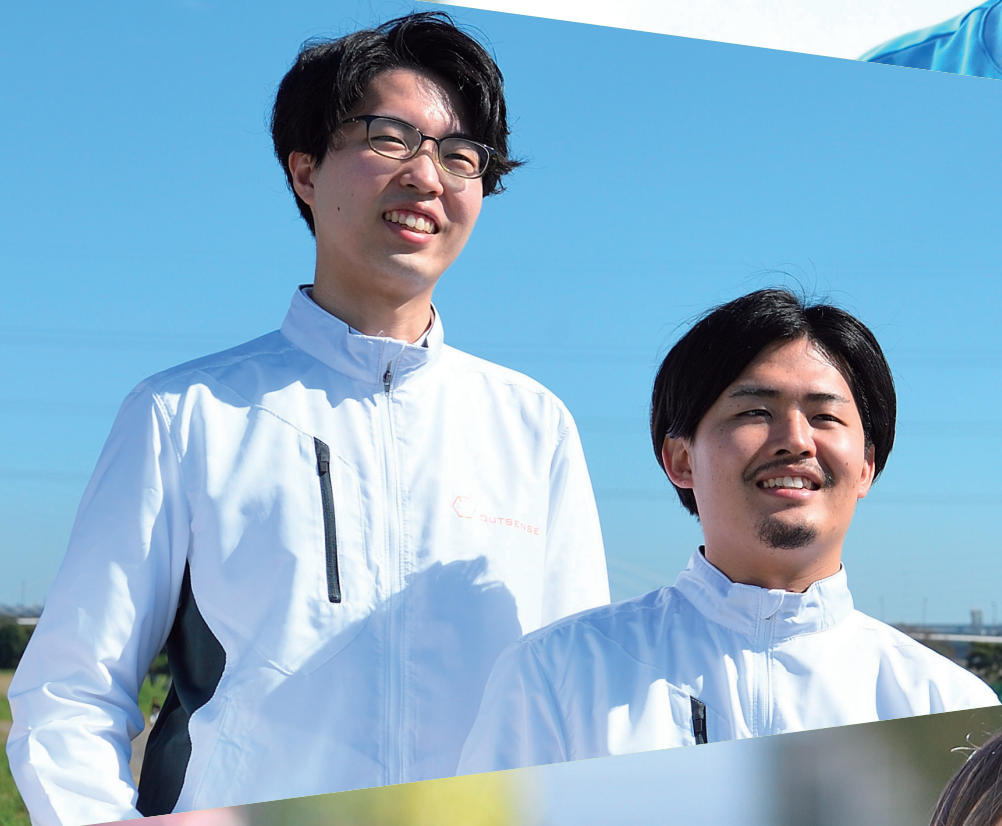




NAKO MOTOHASHI



OUTSENSE inc.



CHIAKI TAKADA



おおたから目指す夢

2022

困難を克服し

夢・未来へ希望あふれる一年に

明けましておめでとうございませう。区民の皆さまには、新しい年を健やかに迎えのことと存じます。

昨年は、八月に新型コロナウイルス感染症による区内新規陽性者数が一週間で1,800名を超えるなど記録的な感染拡大が見られました。緊急事態宣言の度重なる延長により不安な日々が長期にわたってありましたが、区民の皆さまの感染対策やワクチン接種の急速な進展などにより、陽性者は減少傾向となりました。この間、緊急での医療対応やワクチン接種、地域でのワクチン接種予約支援など多くの方々にご尽力いただき、心より感謝申し上げます。行政の力だけでは対応が難しい場面もあり、まさに区の「地域力」を結集して行えたものと考えております。

一方で、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会のように、日本中が元気づけられることもありました。今回の新年号では、夢に向かって挑戦し続ける方々にお話をお聞きしました。幾多の困難を克服しながら挑戦し続ける姿勢は、私自身、大変勇気づけられました。区としてもこうした方々を引き続き応援してまいります。

感染症との闘いは続いています。この危機を乗り越えて、ポストコロナ社会に向けて、皆さんが明るい夢や希望の持てるまちづくりに全力で取り組んでまいります。

この一年が、皆さまにとって明るく、幸多き年となりますよう、心からお祈り申し上げます。

大田区長

松原忠義



おおたから目指す夢

夢に向かって懸命に取り組む姿。私たちはしばしばその姿に魅了され、元気づけられます。今回は、“おおた”から夢に向かって懸命に取り組む企業、アスリートにお話を聞いてきました！



“宇宙に住む”という夢を ビジネスに

株式会社OUTSENSE

代表取締役 高橋鷹山さん(左)、アルバイト 永井翔真さん(右)

▶株式会社OUTSENSE 平成30年設立。令和2年から本羽田二丁目工場アパートに本社を移し事業展開。「折り工学」による技術開発・サービス提供など

「宇宙に住むという夢」から開発された「折り工学」

高橋さん 弊社は「折り工学」と呼んでいる折り量みの技術を用いて、世の中の課題解決に取り組んでいます。「折り」と光、「折り」と音など、「折り」の利点をさまざまな要素にかけ合わせて新しい技術を生み出し、より良い暮らしを目指す提案をしています。最終的な目標は“宇宙での居住”で、そのための研究・開発の一環でもあります。

宇宙での建築を考えたときに、地上で作ったものを検査して持ち込み、そこに居住するのが一番安全だと考えます。ただ、ロケットに積載できる大きさには限りがあります。そこで、人が住める大きさにするには構造物を畳んで小さくして持っていけばいいのではないかと。それが「折り」開発への入口でした。ものを折ることで強度を高め、コンパクトにもできることは利点ですよね。

おおたを選んだのは「ものづくり」のまちだから

高橋さん 事業展開する上で、やはりものづくりのまち、町工場がそばにある土地で開発したいと考えていました。ちょうど大田区の「スタートアップとものづくり企業の連携創出実証実験事業」で課題解決のアイデアを募っていて、そのうちの国内企業1社に選んでもらいました。それがきっかけで製品開発の



際にサンケイエンジニアリング(区内企業)の土場さんとマッチングしてもらったのはいいご縁でした。半年くらい製品開発を議論しながら進めたこともあって、土場さんの近くで活動したいと思い、おおたでやっということ決めました。今も同

じ工場アパート内のご近所さんとして、よく相談にいきます。ものをつくるという点でも、具体的なアイデアや経験に基づいた知恵は、ベンチャーが加速する上で欠かせません。そんな環境にあることがうれしいですね。

夢を語れば仲間が伴走してくれる

高橋さん 宇宙に住むという構想は、受験生のころに読んだ建築関連の本がきっかけです。大学に入って宇宙建築と一緒に学ぶ仲間を募り、学生団体を立ち上げました。研究を続け、どう実現させていくかを考えながら起業し、今に至ります。永井君は学生団体を運営しているときからのつながりで、もう5年くらい伴走してもらっています。

永井さん 高橋社長が起業して走り始めたころに学生団体の運営をするようになりまして。メンバーを増やして宇宙建築事業の研究を進めていて、次世代に引き継げるようにもしています。春からはOUTSENSEの社員として事業により深く携わっていく予定ですが、正直、不安がないと言ったらうそになります。大手企業のようにこれまでの蓄積やノウハウがあったり、上司や先輩から直接教えてもらえたりするわけではありません。でもベンチャーだから自分が学んだ分だけ自分も企業も成長できる、そういう経験は大手企業に技術職として入ったらできないでしょう。幅広く動けるのがベンチャーの強み。宇宙で実際に住みたいという強い思いに共感してくれる人が社内に何人もいるということが、常に前向きに進める原動力です。

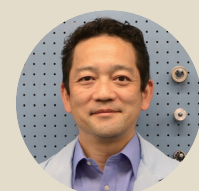
やりたいことを語り続けていたら、 実現への道が見えてきた

高橋さん 宇宙居住に向けて一直線に行けるかという、そういうわけではありません。人々の意識、文化づくり、資金調達、技術開発など課題はたくさんあります。しかし、やりたいことは誰かに話してみることが実現への第一歩。声に出すと、本当に自分はやりたいのだという覚悟が芽生え、道筋も明確になってきます。もしやめると

判断しても、考えた上でやめるのだから、何もしなかったのとは全く違う。話すことによって、変わっていると思うようなことでも面白くなってくれる人はいます。やってやろうと前に進む自信にもなると思いますよ。



株式会社OUTSENSEの技術アドバイザー



おおたで働く仲間を 応援します

サンケイエンジニアリング株式会社
代表取締役 土場義浩さん

私たちは「ものづくりの総合窓口」。お客さんが困っていることを一緒に悩み、町工場と連携して解決します。自身で製品を作らないけど、作り手のプロが大田区にはいるので、製造は他社に任せ、試作開発を行っています。また、私たちの主な業務の一つにベンチャー企業支援があります。私自身も創業時は裸一貫で始めたので、ベンチャーの気持ちがよく分かります。そこで、私なりに何か役立つことはあるのかなと思った中で、OUTSENSEと連携して製品開発をする機会がありました。高橋社長には、事業として、実業家として伸びてほしいなという思いしかありません。前向きな気持ちと自分自身で製品を作りたいというバイタリティーにあふれている高橋社長。それを応援できる環境が大田区にはあります。OUTSENSEには、次世代のものづくりの「町工場連携型ベンチャー」の一つのアイコンになってほしいと期待しています。



今の自分、ここにいる自分 夢に向かうためにできること

Wリーグ(女子バスケットボール) 東京羽田ヴィッキーズ 本橋菜子選手

▶本橋菜子 バスケットボール女子日本リーグ・東京羽田ヴィッキーズ所属/東京2020オリンピックバスケットボール女子日本代表・銀メダリスト。大田区民栄誉賞受賞(令和3年)

「大丈夫、きっとうまくいく」

東京2020大会は、さまざまな意見がある中での開催でした。そこで改めてスポーツが持つ力の大きさを感じ、人生の中で本当に忘れられない特別な経験となりました。私自身、大会8か月前に負ったけがからの復帰という大きな課題があり、一生に一度あるかないかの自国開催のオリンピック出場という夢を、可能性がゼロではないのに諦めたくありませんでした。けがを負ってからの半年間、これ以上頑張れないくらい、やれることは全てやったつもりです。一日一日、後悔のない日々を送ってきたので、どんな結果でも受け入れられたと思います。毎日部屋を出る前に鏡の前に立って「大丈夫、きっとうまくいく」と笑顔をつくりました。今までの競技人生を振り返り、数々の大変な場面を乗り越えてきたことを自信に変えて「今回も大丈夫だよ」と自分に言い聞かせていました。



地元おおたの声援が大きな力に

東京羽田ヴィッキーズ所属以降は、いかにWリーグで上位チームに食い込んでいくかが目標でした。初めて日本代表に選ばれた時は「まさか私が」と驚きましたが、捨て身の覚悟でトップレベルの人たちから学び、吸収していきました。私にとって応援してもらうことが一番の元気の源です。代表に選ばれる前からずっと声をかけてくれた地元の方々からの応援は、とても力になりました。いまだにオリンピック銀メダリストの実感はないのですが(笑)、メダリストとしての自覚を持って行動を意識し、自分もスポーツ選手として人を元気づけられる存在でありたいです。

自分と向き合って未来を拓く

自分が置かれた状況で自身と向き合い、“今”、精いっぱいやることをやる。その積み重ねが未来を拓くのだと信じています。迷ったら「これは何のためにやっているのか」と立ち止まり、大切にしているもの、成し遂げたいものは何かを思い出すようにしています。私の将来の展望は東京羽田ヴィッキーズがベスト8以上に進出すること。皆さんも大変なことや苦しいこともたくさんあると思いますが、私も頑張る人の勇気や希望の源となれるよう頑張ります！一緒に夢に向かっていきましょう！

目標を達成するまでやめたくない 目指すは2年後のパリ大会

パラ陸上 視覚障がい全盲クラス(走幅跳・100メートル) 高田千明選手

▶高田千明 パラ陸上(走幅跳・100m)・T11(全盲)クラス、ほけんの窓口グループ株式会社所属/2017年世界選手権銀メダリスト、リオ2016・東京2020パラリンピック日本代表。萩中小学校出身

悔しさが残った 東京大会

昨年の東京2020パラリンピック走幅跳では、前日練習で4m90cm跳べたのでメダル圏内だと送り出してもらいました。でも本番で前日とは違うと思っているうちに6本全て跳び終わってしまいました。「日本記録更新(4m74cm)で5位入賞、おめでとう!」と言われても私が欲しいのはこれじゃないと悔しさでいっぱいでした。自己ベストを伸ばすことができましたが、選手全体のレベルも上がっているので、2年後のパリ大会で5m跳べてもメダルを獲れるのかどうか。願わくば5m跳んでメダルを獲って帰りたい。今後はアジアパラ大会(中国)、世界パラ陸上(神戸)があります。そこで記録を伸ばし、次のパリ2024パラリンピックでメダルを目指します。



コーチとの信頼関係と周りの応援が原動力

大森(盛一)コーチはコーラー(※)・伴走者も兼任してくれています。全盲の私には、試合に出るときも練習するときもコーラーや伴走者が必要です。タイムや数字に指導の成果が出てくるので、ついていけば大丈夫だと信頼しています。また、いろんな人に「競技をよく続けられますね」と言われますが、目標達成するまではやめたくないのです。「頑張っている人を見ると自分も頑張れる」と言われると、中途半端に終えることはできないなど。大勢の人が見て応援してくれる、その重みをエネルギーに変えて挑戦し続けています。
※コーラー=踏切位置付近で、声や音を出して選手を踏切エリアに導く競技アシスタント

ひとりごとでもいいから声に出す

大田区の皆さんってあったかいですね。私は羽田出身ですが、ちょっと下町っぽい飾らないやさしさが残るまち。仲間を大事にする土地で育ったので、自分が誰かにできることがあればやりたいと思っています。

私は陸上を終えても柔道やカヌーなどスポーツを続けたいです。そう言ったら、陸上を始めた時のように情報やご縁が集まってきました。黙っていても誰にも知られず終わるかもしれない。したいと言えば小さなことでも誰かが教えてくれる。自分は進むだけ。ひとりごとでも声に出すのは夢への第一歩ですよ。



昨年のパラリンピックで使用した伴走用の“絆”と歌舞伎の隈取柄のアイマスク。裏には家族をはじめ応援してくれる方々の名前が書かれています。



ありがとう 地域力で コロナを乗り越える

新型コロナウイルス感染症の拡大により、私たちの日常は一変しました。日々絶え間なく私たちの生活を取り巻く環境が変化中、行政の力だけでは対応が難しい場面も多くなりました。区が行うワクチンの集団接種は、区施設とは別に大きな会場を提供いただき、接種を進めることができました。会場提供いただいた企業・法人からの、コロナ収束へ向けたメッセージをご紹介します。



日本工学院専門学校
12号館「ギャラリー鴻」
(西蒲田5-24-1)



キャノン株式会社
下丸子体育館
(下丸子3-29-1)

● 学校法人片柳学園 (東京工科大学・日本工学院専門学校) 理事長 千葉 茂

包括連携協定を結んでいる大田区にワクチン接種会場として「ギャラリー鴻」を提供しています。接種会場内に学生が作成したアニメーション作品を展示したことで、接種に訪れた方の緊張が少しでも和らいでいましたら幸いです。今後も地域の感染対策に協力するとともに、一日も早い感染収束を願います。



● キャノン株式会社 代表取締役会長兼社長 CEO 御手洗 富士夫

日頃より弊社の事業活動に対して、ご理解を賜りありがとうございます。新型コロナウイルスの感染に対して、ワクチン接種環境の充実こそが地域の皆さまにとって最優先と考え、弊社体育館を開放することとしました。多くの方にご利用いただきうれしく思います。コロナ禍は必ず克服できます。今後も、区民の皆さまのご健勝を心よりお祈り申し上げます。



個 別接種や職域接種、地域の方の予約支援、感染対策グッズの製作など、たくさんの方や企業などによるご支援により大田区の感染対策事業は成り立っています。今後も皆さまと連携しながら、大きな感染の波が来ても乗り越えていきます。

新型コロナワクチン接種のお知らせ

■ 追加接種(3回目)について

追加接種(3回目)は、2回目の接種完了から原則8か月経過した18歳以上の方が受けられます。
※今後、国などの方針を踏まえ、感染拡大防止を図る観点から、変更する場合があります

● 予約方法

接種券が届き次第予約できます。詳細は接種券に同封されているお知らせをご覧ください。

● 接種券発送時期

主な対象者	接種券発送日
医療従事者・高齢者施設等入所者で、6月上旬までに2回目接種を受けた方	1月4日
6月下旬までに2回目接種を受けた方	1月21日
7月以降に2回目接種を受けた方	国の方針などを踏まえ順次発送

● 接種会場

「個別医療機関」「集団接種会場」で行います。時期により接種会場が異なりますので、区HPなどでお知らせします。

追加接種の詳細について、1月中旬に発行(予定)の臨時号でお知らせします。区HPでも最新情報をお知らせしていますので、併せてご確認ください。



最新情報は
コチラ

▶ 問合せ 大田区新型コロナワクチン接種コールセンター ☎ 6629-6342
(月～土曜、午前8時30分～午後5時15分 ※休日、年末年始を除く)

区の世帯と人口 令和3年12月1日現在

● 世帯数…398,861世帯 ● 総人口…729,747人
● 面積…61.86km²
日本人口…706,541人(男…351,062人 女…355,479人)
外国人人口…23,206人(男…11,028人 女…12,178人)

！ 夜間・休日 診療案内

受診を希望する際は
事前に必ずお電話ください

12月29日～1月3日は日曜、祝日の診療時間と同じ。
ただし、◎の記載がある診療は例外

外科

診療時間：日曜＝午前9時～午後4時30分

大森医師会診療所(中央4-31-14)

☎3772-2402

◎12月29日～1月3日は休診

接骨(ほねつぎ)

施術時間：日曜、祝日＝午前9時～午後5時

東京都柔道整復師会大田支部

☎090-3542-3896

小児科・内科

診療時間：土曜＝午後5時～9時30分

日曜、祝日＝午前9時～午後9時30分

大森医師会診療所(中央4-31-14)

☎3772-2402

田園調布医師会診療所(石川町2-7-1)

※電話予約制 日曜、祝日のみ

☎3728-6671

蒲田医師会診療所(蒲田4-24-12)

※電話予約制 ☎3732-0191

小児科

診療時間：月～金曜(祝日を除く)＝午後7時45分～10時45分

大田区子ども平日夜間救急室

(大森西6-11-1)

東邦大学医療センター大森病院3号館内

☎3762-4151

◎12月29日～1月1日は休診。1月2・3日は午前9時～午後5時開設

眼科

診療時間：月～金曜＝午後5時～翌朝午前9時

土曜＝正午～翌朝午前9時

日曜、祝日＝午前9時～翌朝午前9時

(近隣の開業医で受診可能な時間にはそちらをご案内することがあります)

診療曜日・医療機関

月・水・土・日曜、祝日

東邦大学医療センター大森病院

☎3762-4151

火・金・土・日曜、祝日

昭和大学病院附属東病院 ☎3784-8383

木曜

東京都保健医療公社荏原病院

☎5734-8000

薬(処方せん調剤)

取り扱い時間：土曜＝午後5時～10時

日曜、祝日＝午前9時～午後10時

大森地区

大森会営薬局(中央3-1-3)

☎3774-7721

田園調布地区 ※日曜、祝日のみ

ゆきがや薬局(東雪谷5-1-1)

☎3728-3231

蒲田地区

蒲田薬局(蒲田4-38-5)

☎3732-1291

歯科

診療時間：日曜、祝日＝午前9時～午後5時
(午後4時30分まで受け付け)

大森歯科医師会館(池上4-19-7)

☎3754-8648

蒲田歯科医師会館(新蒲田1-4-14)

☎3731-9282